

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
政策目標 5 「宮島」を中心として、多くの人が訪れるまちに
重点的取組 3 観光資源をネットワーク化する

担当課名		環境産業部 観光課	
予算科目	会計	01	一般会計
	款	06	商工費
	項	01	商工費
目	目	03	観光費

事業名	観光資源ネットワーク化事業		事業開始年度	平成 年度
	観光振興基本計画のマネジメント		根拠法令 条例 個別計画 等	—

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	国内外からの観光客 市民	○本市に世界遺産「宮島」を中心として多くの人が訪れるようになる ○戦略的かつ効果的な観光政策を体系的に推進することで地域の活性化や雇用の拡大など地域への波及効果が生じる

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	○本市の観光政策に関する情報収集、現状把握、分析 ○策定のための会議等の設置と運営 ○基本計画策定とその計画を推進する体制の構築	観光関係団体 学識経験者	○本計画の進捗状況の管理

3 平成 27 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容	○（仮称）廿日市市観光振興基本計画マネジメント委員会の開催（H27新規） 本計画の進捗状況を把握し、PDCAサイクルを回すための委員会を開催する。					
	【歳出】 報償費（学識） @14,000×1人×1回 14 千円 費用弁償（学識・県外） @38,520×1人×1回 39 千円 ○（仮称）観光シンポジウム実施業務（H27新規） 廿日市市観光振興基本計画の実現に向け、本市の進むべき方向性を示すとともに、今後取り組むべき課題等について、市内の関係者等と意識の共有化を図る。 （仮称）観光シンポジウム実施業務委託料 500 千円 計 553 千円					
コスト情報（円）	項 目		平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	平成 27 年度予算	
	財源内訳	直接事業費 A	3,076,750	2,850,000	553,000	
		国庫支出金				
		県支出金				
		借入金（市債）				
		その他(使用料など)				
		市（市税など）	3,076,750	2,850,000	553,000	
	人件費(按分) B		0.90 人 7,637,400	0.90 人 7,659,900	0.50 人 4,324,500	
	総事業費(A+B)		10,714,150	10,509,900	4,877,500	
	単位 換算	① 人口(4月1日現在)	117,680 人	117,680 人	117,182 人	
		② 市民1人当たり	91	89	42	
到達目標	活動及び成果指標		単位	H25 実績値	H26 実績値	H27 目標値
	活動	会議開催	回	3	3	1
	成果	市の総観光客数	万人	742	733	736
	備考					